

2024 年度 学校法人 三幸学園 福岡リゾート&スポーツ専門学校 自己評価報告書

自己評価報告責任者：副校長 武藤洋和・吉留 朝美

1. 学校の教育目標

学園のビジョン「人を活かし、日本をそして世界を明るく元気にする」、ミッション「人を活かし、困難を希望に変える」のもと、スポーツ分野の学校として「スポーツを通じて日本を明るく元気にする」というビジョンを掲げている。

また「技能と心の調和」を教育理念とし「素直な心、感謝の気持ち、高い意欲を持ち続け、自ら考え、自ら行動することで、社会に貢献する人材」、スポーツ分野として「スポーツを通じて健康と楽しさを提供できる人材」を育成する人物像とし、専門学校として社会・業界に求められる人材の育成を進めている。

2. 前年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

前年度重点施策振り返り

【教務理念・目標について】

前年度の目標：保護者への教育理念の周知・浸透の向上

- ・入学前に保護者会を実施した。オンラインで実施したことにより参加率が向上した。

【学校運営について】

前年度の目標：教員間での情報共有ツール利用の促進

- ・Teams を雇用形態問わず全教員が利用できるよう促進した。

【教育活動】

前年度の目標：短期インターンシップの体系化

- ・業界内アルバイトとインターンシップを体系化して、学生のニーズに合わせて提供した。

【学修成果】

前年度の目標：早期離職を防ぐために就職指導の強化

- ・キャリア形成を見据えた就職指導の強化と並行して内定を取れるような指導を強化した。

【学生支援】

前年度目標：保護者の学習成果を見学できるような機会の創出

- ・学修成果を見学できる学校行事に保護者をご招待した。

【教育環境】

前年度目標：より効果的なボランティアにするために、外部ボランティア参加の事前指導内容の統一

- ・事前指導、当日、事後指導を基本的な型として、実施が定着した。

【学生の受け入れ募集】

前年度目標：新たな層の獲得のために人気のある学科（教育課程）の導入

- ・スポーツ&アクティビティ科の開講準備

【社会貢献、地域貢献】

前年度目標:学内スポーツクラブの運営と比恵町清掃活動への参画

・比恵町の清掃活動参加者を募り、定期的に清掃活動を実施した。

3.評価項目の達成及び取組状況

(1)教育理念・目標

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	4
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	3
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4

① 課題

入学時の保護者会以降保護者の方に全体周知する機会が少なく、必要に応じた個別対応となっている。

② 今後の改善方策

保護者と学校の連携が取りやすいように新しい周知ツール「スクレ」を導入

③ 特記事項

特になし

(2)学校運営

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
人事、給与に関する制度は整備されているか	4
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

① 課題

教員の Teams の利用は昨年度よりも定着したが新しく入職された先生との利用率の差を課題に感じている。

② 今後の改善方策

学校出勤時、個別での利用の声掛けを継続して行っていく。また全教職員が参加する全体会議にて利用率や

効果的な使い方を再度案内する。

③ 特記事項

特になし

(3)教育活動

【評価項目】（評価＝適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1）	評価
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
目標の設定として、教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	3
授業評価の実施・評価体制はあるか	4
職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4
資格（免許）取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保し、組織できているか	4
関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含め）の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	4
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3
職員の能力開発のための研修等が行われているか	4

① 課題

新しいカリキュラムを運用していくにあたり、教科間での連携などの教員間の相互理解の場が必要である。
業界内アルバイトと長期インターンは体系化できたので、短期インターンシップ先の体系化を行う。

② 今後の改善方策

- ・新カリキュラムの運営メンバーへ浸透の機会を設ける。
- ・短期インターンシップ案内強化 WEEK を設定する

③ 特記事項

- ・有給インターンシップの導入継続

(4)学修成果

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
就職率の向上が図られているか	4
資格（免許）取得率の向上が図られているか	4
退学率の低減が図られているか	4
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3

① 課題

高い就職率は維持できているが、業界内の就職率をあげていくことを課題として感じる

② 今後の改善方策

入学時のタイミングでキャリアゴールを意識させる「初期教育」を全学科導入する
職業観醸成の取り組み実施（初期教育）校内説明会の強化

③ 特記事項

特になし

(5)学生支援

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
学生相談に関する体制は整備されているか	4
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
学生の生活環境への支援は行われているか	4
保護者と適切に連携しているか	3
卒業生への支援体制はあるか	4
中途退学者への支援体制はあるか	3
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4

① 課題

保護者連携及び、成人として自立機会の創出
高校・専門学校の連携強化
中途退学を出さないための教務的施策を強化

② 今後の改善方策

学修機会(SDC・学内スポーツクラブ)の案内強化

目標喪失をさせないように授業が始まるまでに学科ごとに適切な初期教育を実施する

クールダウンルームの設置

③ 特記事項

特になし

(6)教育環境

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
学内外の実習施設,インターンシップ,海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
防災・安全管理に対する体制は整備されているか	4

① 課題

各種ボランティアを学校として準備できるようになったが、当日欠席者への指導や事後指導は強化が必要

② 今後の改善方策

事前指導の内容を統一する。

出席管理の方法を整理して、事後指導を徹底する。

③ 特記事項

特になし

(7)学生の受入れ募集

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学生募集活動は、適正に行われているか	4
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
入学選考は、適性に行われているか	4
学納金は妥当なものとなっているか	4

① 課題

教育成果(主要資格合格率や退学率)へ拘りを持ち、教育成果を募集活動で正確に伝達すること

② 今後の改善方策

主要資格(AT・JATI・健康運動実践指導者)合格率の可視化や退学率の低減

③ 特記事項

特になし

(8)財務

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
財務について会計監査が適正に行われているか	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4

① 課題

【中長期計画】

なし

【予算・収支計画】

なし

【会計監査】

なし

【財務情報の公開】

なし

② 今後の改善方法

【中期計画】

今期は第3期中期計画(2023 年度～2027 年度)の2年目にあたり、中期計画及び進捗状況はホームページ上に公開している。

【財務情報の公開】

なし

③ 特記事項

第3期中期計画については、東京未来大学及び小田原短期大学の中計改定に加え、東京みらい中学校及び支援学校仙台みらい高等学園の内容を追加し、第3期中期経営計画(第2版)として改定する予定である。

(9)法令等の遵守

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
関係法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4
自己評価結果を公開しているか	4

① 課題

なし

② 今後の改善方策

コンプライアンス研修は徹底して継続的に行っていく

③ 特記事項

特になし

(10)社会貢献・地域貢献

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	3

① 課題

愛される学校を作るために地域に対する貢献機会を創出する。

② 今後の改善方策

学内スポーツクラスに近隣の方を招待する
ゼミ活動で中学校・高校の部活に指導を行う

③ 特記事項

・高体連と連携してインターハイへ協力
・近隣の子どもたちへ学内で運動指導を行う「リゾキッズ」を継続開催
・学内スポーツクラブの運営
・博多クリーンデー参画

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

実施内容について、毎年チャレンジを続けている。本会議の中でも議題にあがった、PDCA サイクルのチェックやアクションを強化することが学校運営現場でも重要だと感じた。

年々、学生の質が変わることと共に教員の質も変わってきている。学校運営上、スピード感があり学びの体系化を作っていけることが本学校の強みだと感じている。学校の中だけではなく、学校に関わる外部の方から学校を良くするためのヒントとなり得る貴重なお話が聞けたため、今回いただいた意見を基にできることから今年度中に調整をして実施していきたい。（吉留副校長）